

桑名市総合医療センター 新病院実施設計の概要

基本コンセプト

※桑名市総合医療センター 基本構想・基本計画

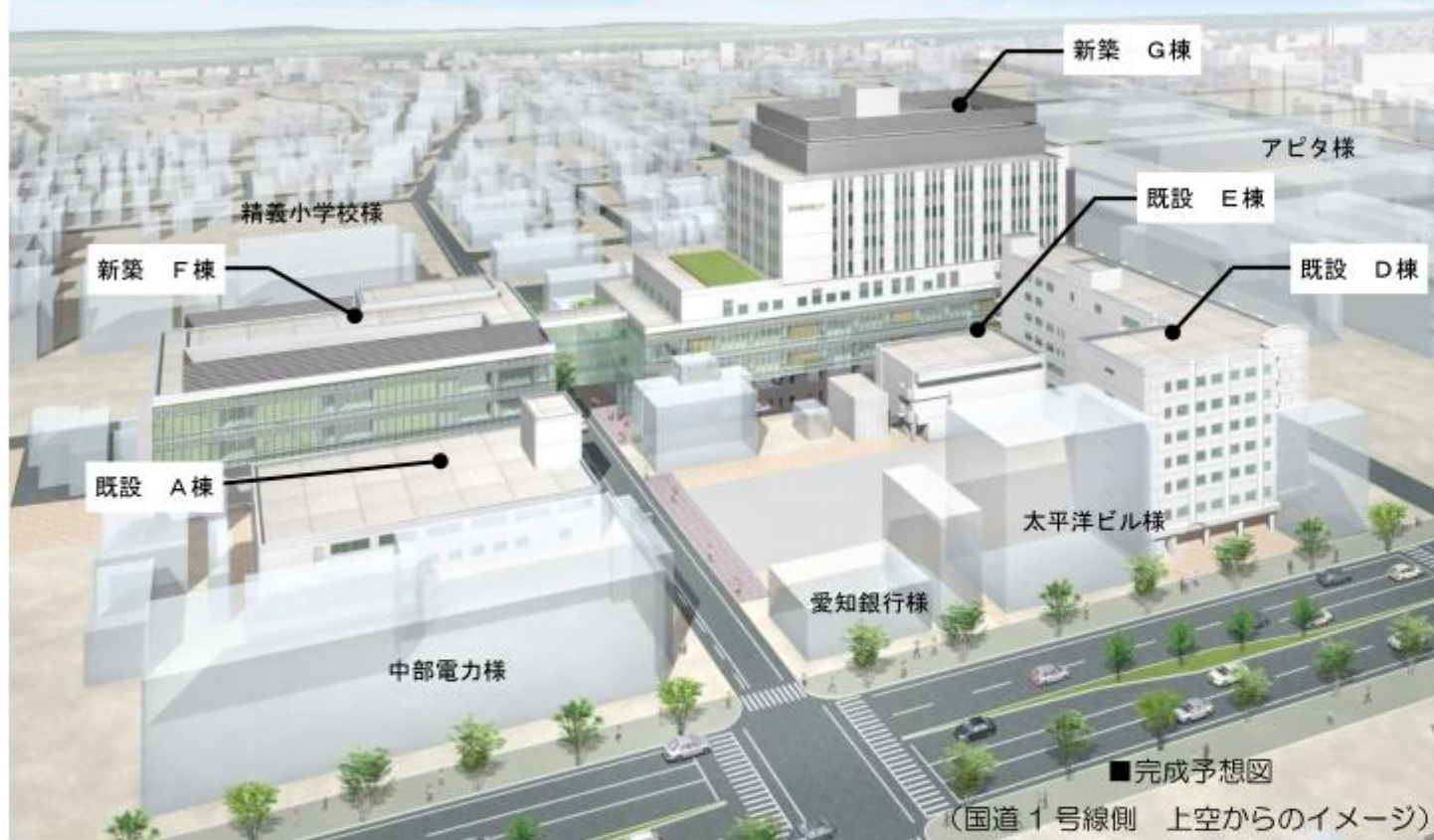
□基本理念

最良の医療を提供し、地域の皆さまから信頼され必要とされる病院をめざします。

□基本方針

- 1.患者さまを中心に考え、真心・思いやり（忠恕）の医療を提供します。
- 2.医療の水準と質の向上に努め、安全性を確保します。
- 3.地域の皆さまに安心していただける中核病院としての責任を永続的に果たします。
- 4.患者さまおよび職員にとって魅力ある病院をつくりまします。

実施設計



施設概要

	F棟（外来棟）	G棟（中央診療・病棟）
建物の構造等	延床面積 7,392.84㎡ コンクリート造（制振構造） 6階 高さ22.64m	延床面積 24,224.44㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート一部鉄骨造（制振構造） 11階 高さ51.39m
診療科目 全29科 （予定）	総合内科、糖尿病内分泌内科、リウマチ膠原病内科、循環器内科、血液腫瘍内科、神経内科、腎臓内科、消化器肝臓内科、呼吸器内科、総合診療科、小児科、精神科、放射線科、外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、乳腺外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科、皮膚科、歯科口腔外科、救急科、リハビリテーション科、麻酔科	
病床数	322床	
駐車場	214台（新棟開院時点）	

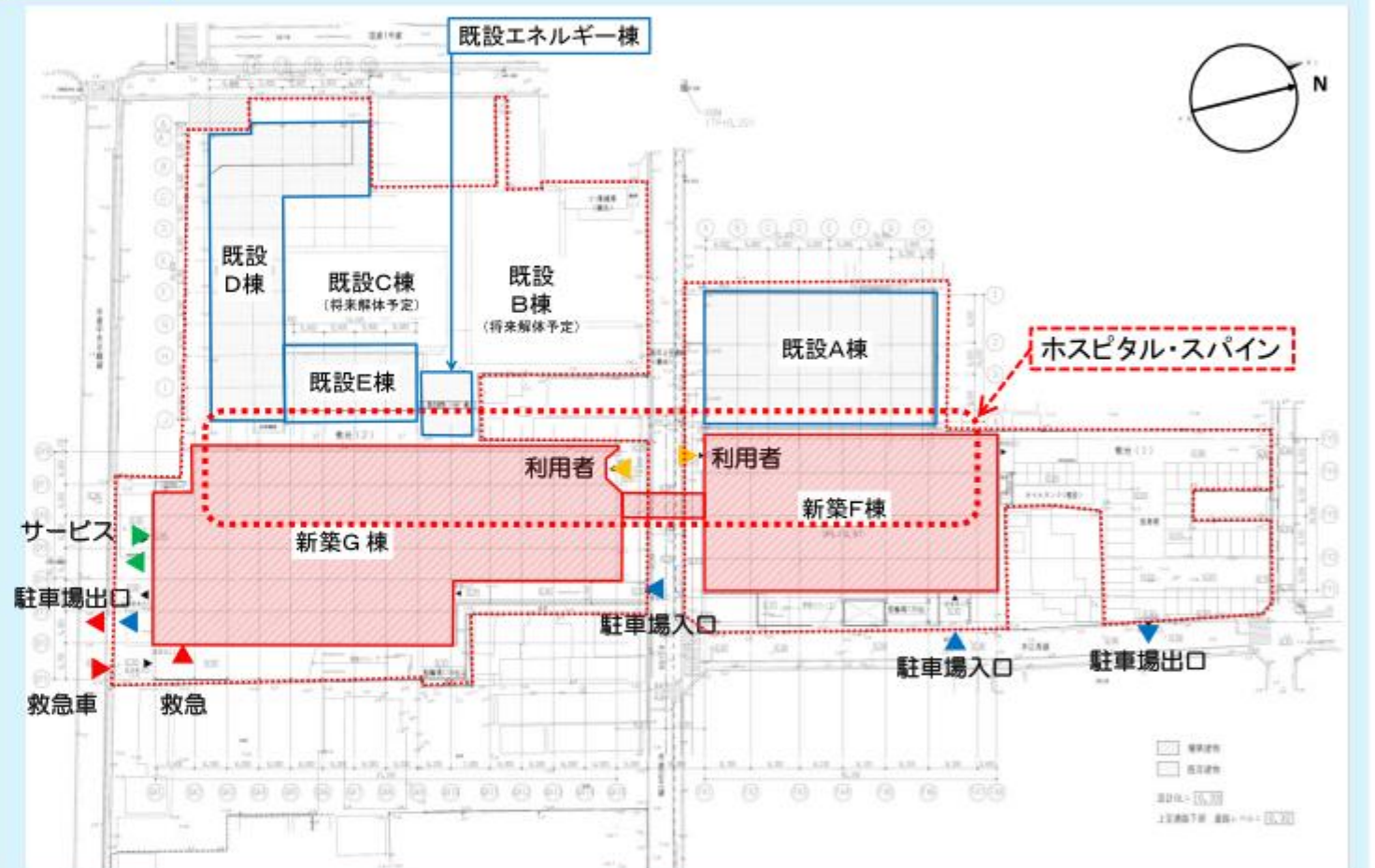
新病院の特徴

- ・急性期病院として一般病床400床を整備
- ・新たに腎臓内科や消化器外科など10科を新設し29診療科体制
- ・がん、救急医療、周産期医療、小児救急を含む小児医療、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、災害医療への対応

■総合受付のイメージ⇒



配置計画



- ・建設予定地は、桑名駅から徒歩5分程度と公共交通機関に恵まれた、現在の桑名東医療センターとその周辺地を利用した計画としており、一般病床400床を有する急性期病院として、地域の救急医療、高度医療を担う地域中核病院としての機能を発揮するため、既存の施設を利用しながら、隣接する土地に新棟を建設します。
- ・地域中核病院であると同時に災害時には拠点的な役割を担わなければならないため、津波/洪水対策として、診療機能を現状地盤レベルより5m以上の階（既存建物の3階以上）に配置し、災害時にも救急や中央診療機能を維持できる計画としています。
- ・中心市街地という限られたスペースの立地条件で、必要とされる医療機能を持たせ、災害にも強い施設を造るために、上空通路で繋がる「ホスピタル・スパイン」を介して接続することにより、外来機能と診療機能が連携することが出来る構造としています。
- ・南北2つの新棟と既存棟が「ホスピタル・スパイン」で接続することにより、既存施設を有効活用した一体的な利用が可能となり、利用者にも解りやすい建物となると同時に、将来工事のバリエーションが増え、継続的な建て替えを可能としています。

魅力ある病院となるための特徴 ※桑名市総合医療センター基本構想・基本計画

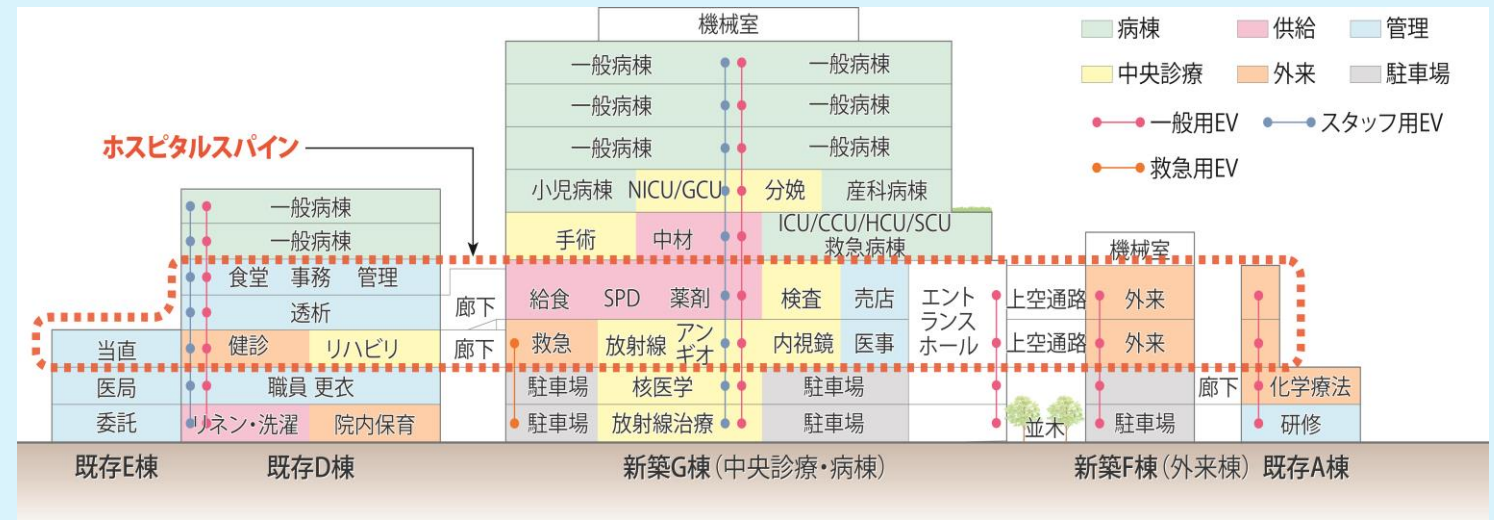
- ① 患者を中心とした病院づくり
- ② 急性期医療を提供できる質の高い診療機能の実現
- ③ 地域完結型医療に向けた取り組み
- ④ 職員が働きやすく魅力ある病院づくり
- ⑤ 効率的経営による持続可能で安定した医療提供体制



■市道記念線から見た中央玄関口

安全性・効率性・快適性に配慮した施設計画

- 3センターの統合による「医療資源の統合・拡大」に効果を発揮し、効率的な医療サービスの提供を実現するため、関連する医療機能の最適な配置計画としています。
- 3、4階の「ホスピタル・スパイン」を介して既存建物と新築建物を一体化し、病院全体の最適なゾーニングを実現する「骨格」を形成しています。
- 既設の建物は将来の医療環境の変化に応じて更新し、時々の最適な全体構成を実現することができます。現計画では、D/E棟に健診センターやスタッフスペースを配置した、既存建物を積極的に利用した計画としています。



[断面構成イメージ]

各階平面図

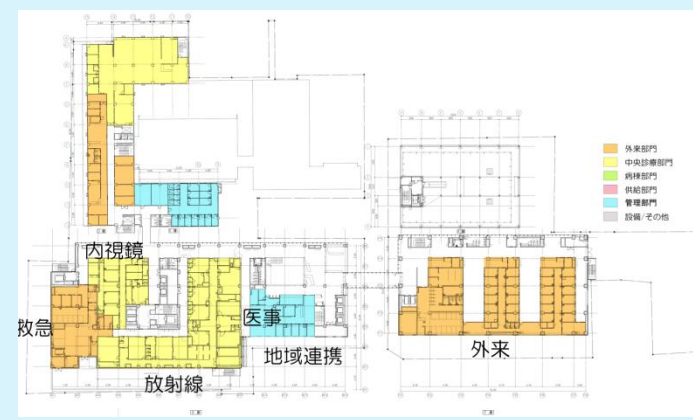
■1階平面図



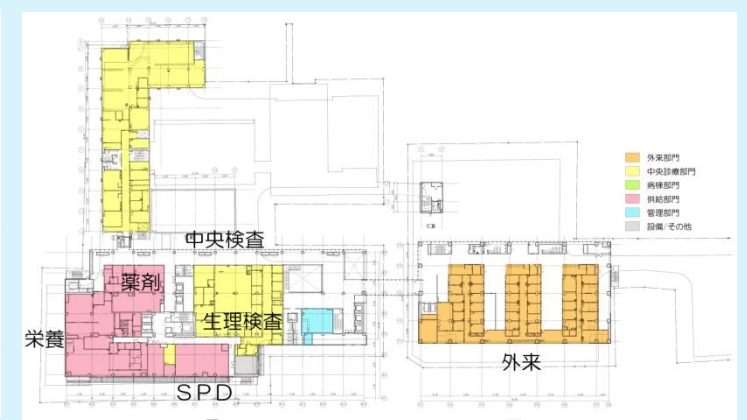
■2階平面図



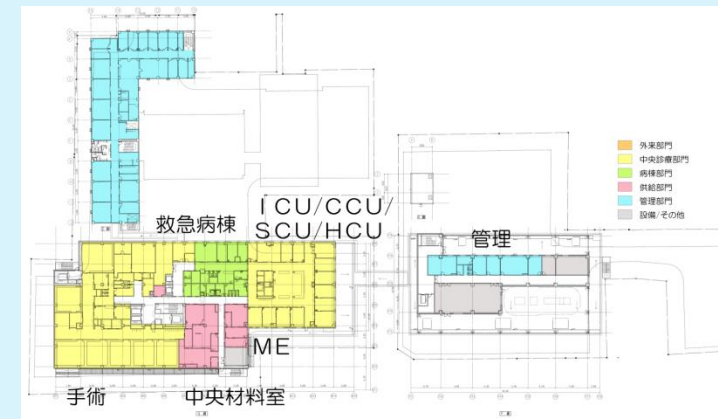
■3階平面図



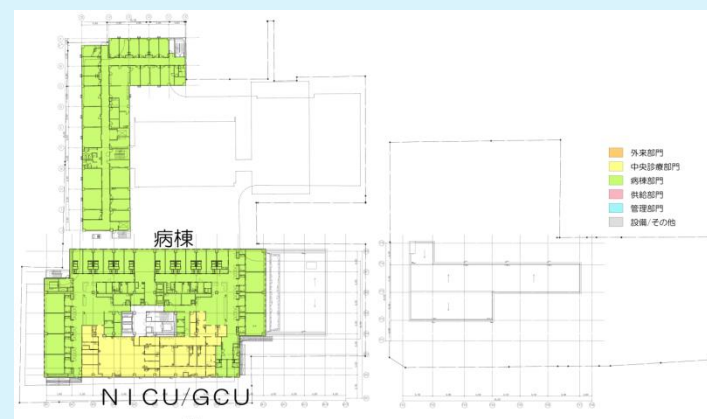
■4階平面図



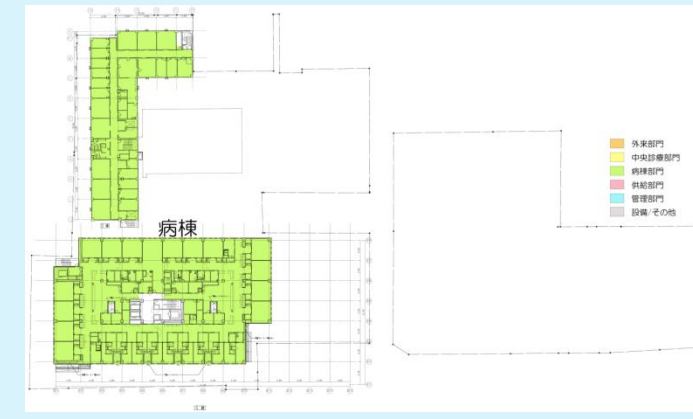
■5階平面図



■6階平面図

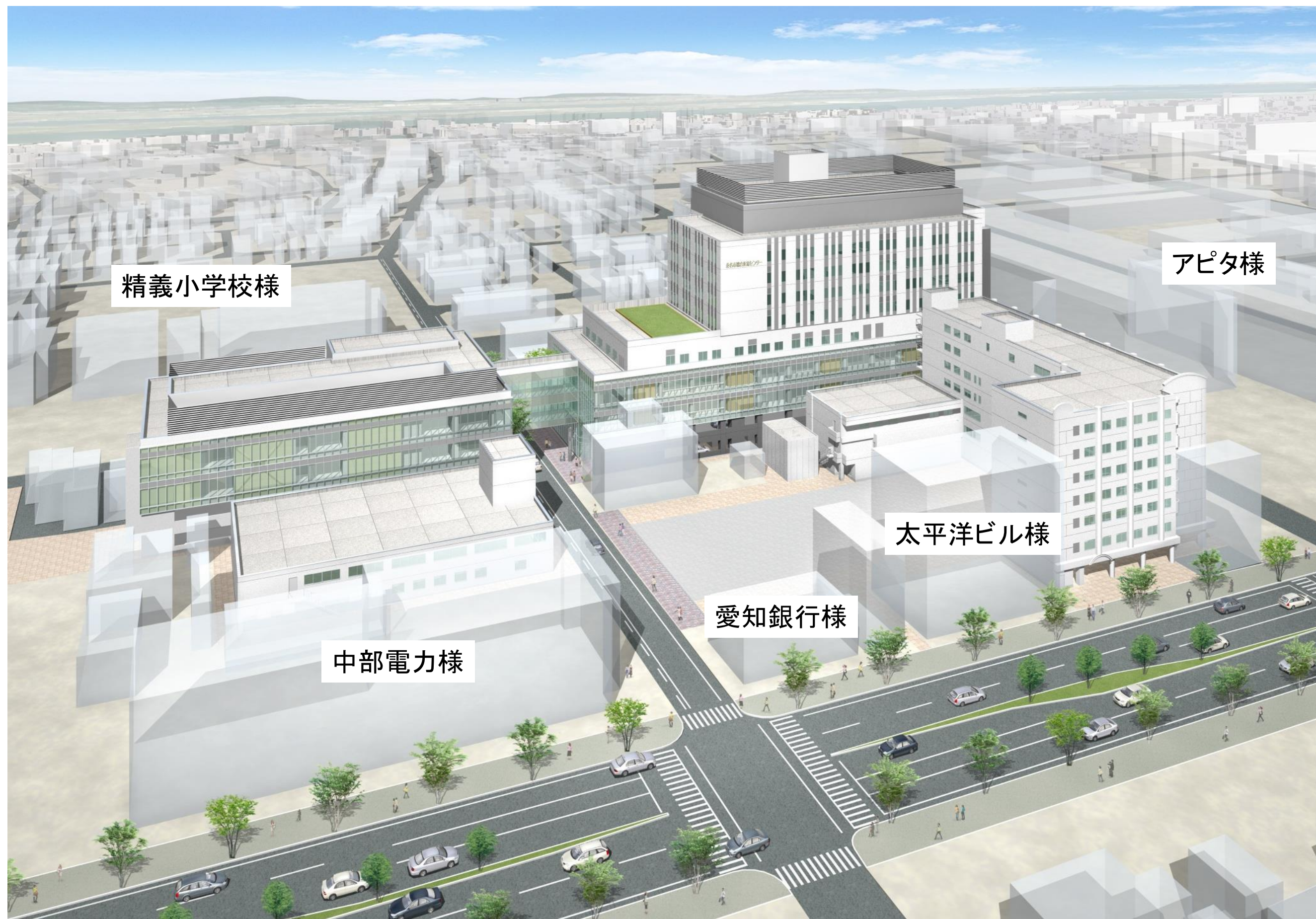


■7階、8階、9階平面



■病棟 スタッフステーション

桑名市総合医療センター新病院 施設概要のご紹介





エントランスホール

中央玄関口





病棟スタッフステーション

外来ホスピタルスパイン



基本コンセプト

□基本理念

最良の医療を提供し、地域の皆さまから信頼され必要とされる病院をめざします。

□基本方針

- 1.患者さまを中心に考え、真心・思いやり(忠恕)の医療を提供します。
- 2.医療の水準と質の向上に努め、安全性を確保します。
- 3.地域の皆さまに安心していただける中核病院としての責任を永続的に果たします。
- 4.患者さまおよび職員にとって魅力ある病院をつくります。

※桑名市総合医療センター 基本構想・基本計画

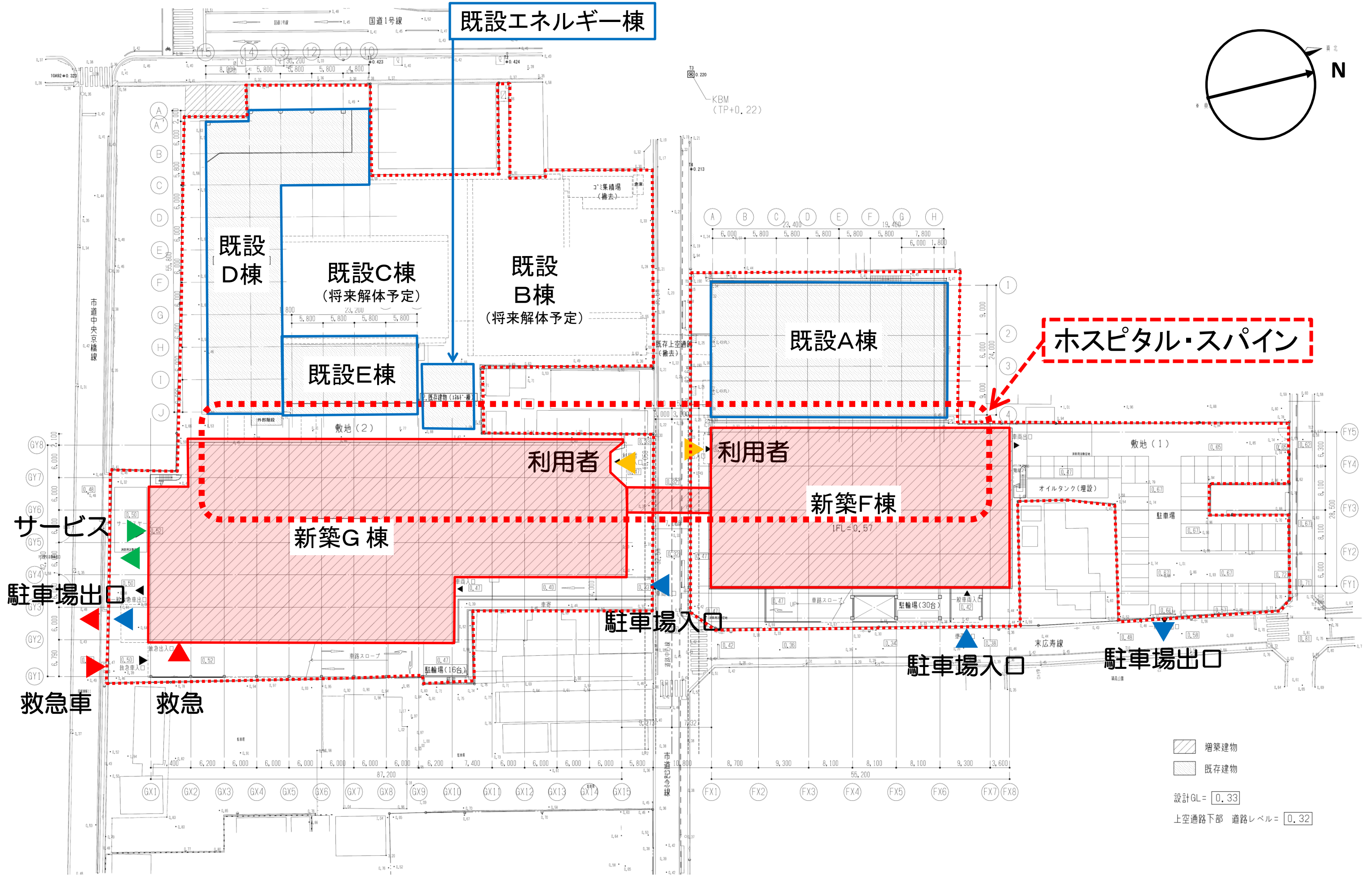
施設概要

	F棟（外来棟）	G棟（中央診療・病棟）
建物の構造等	延床面積 7,392.84m ² コンクリート造（制振構造） 6階 高さ22.64m	延床面積 24,224.44m ² 鉄骨鉄筋コンクリート一部鉄骨造（制振構造） 11階 高さ51.39m
診療科目 全29科 （予定）	総合内科、糖尿病内分泌内科、リウマチ膠原病内科、循環器内科、血液腫瘍内科、神経内科、腎臓内科、消化器肝臓内科、呼吸器内科、総合診療科、小児科、精神科、放射線科、外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、乳腺外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科、皮膚科、歯科口腔外科、救急科、リハビリテーション科、麻酔科	
病床数	322床	
駐車場	214台（新棟開院時点）	

新病院の特徴

- 急性期病院として一般病床400床を整備
- 新たに腎臓内科や消化器外科など10科を新設し29診療科体制
- がん、救急医療、周産期医療、小児救急を含む小児医療、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、災害医療への対応

配置計画

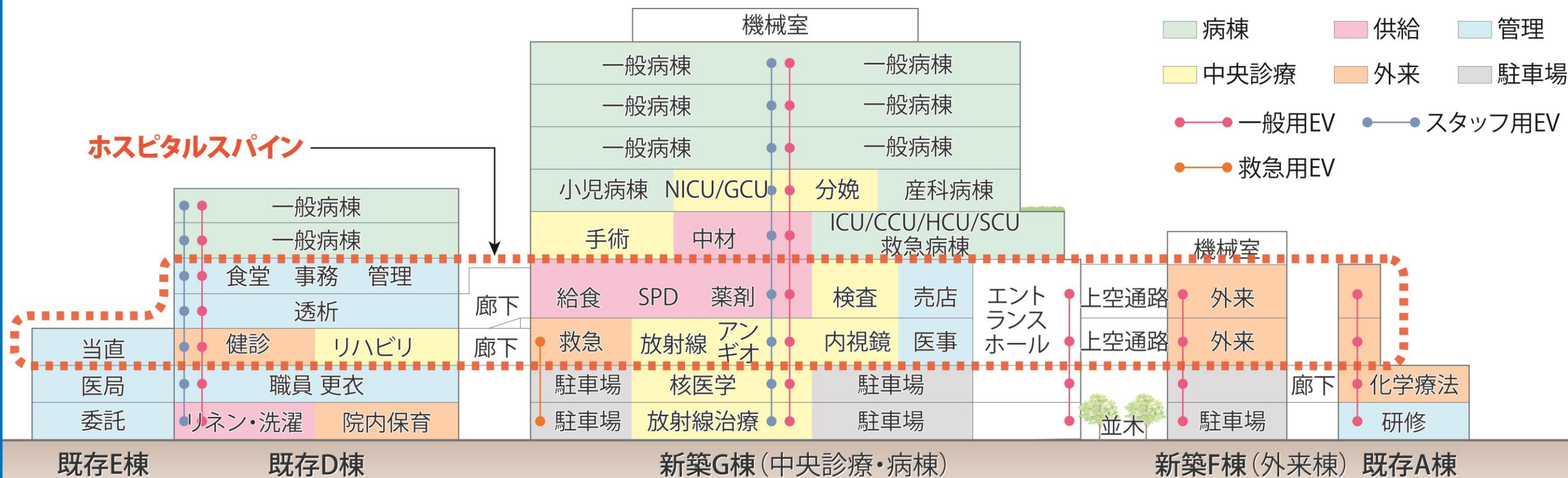


魅力ある病院となるための特徴

- ① 患者を中心とした病院づくり
- ② 急性期医療を提供できる質の高い
診療機能の実現
- ③ 地域完結型医療に向けた取り組み
- ④ 職員が働きやすく魅力ある病院づくり
- ⑤ 効率的経営による持続可能で安定した
医療提供体制

※桑名市総合医療センター基本構想・基本計画

安全性・効率性・快適性に配慮した施設計画



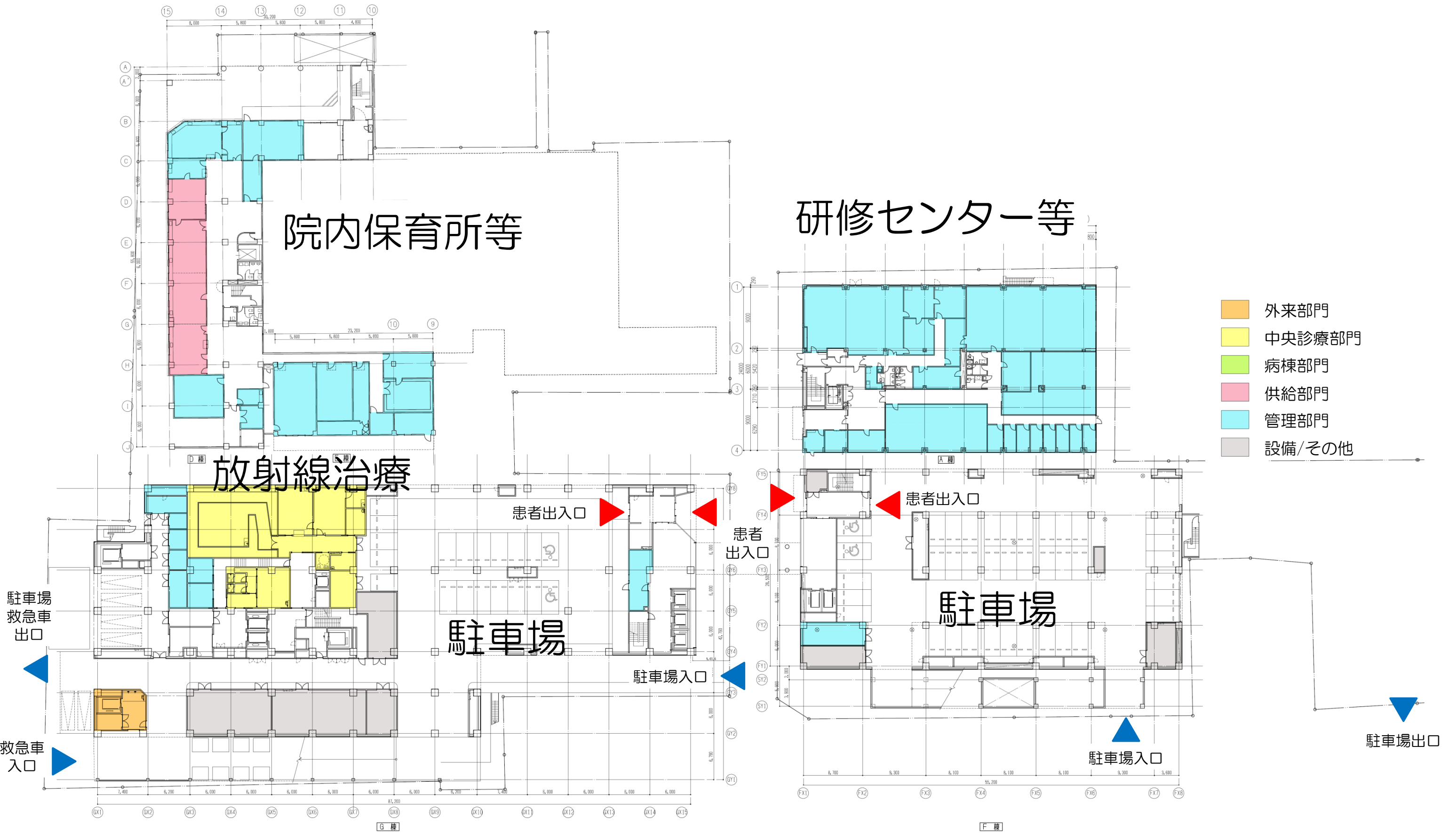
【断面構成イメージ】

・ 3センターの統合による「医療資源の統合・拡大」に効果を発揮し、効率的な医療サービスの提供を実現するため、関連する医療機能の最適な配置計画としています。

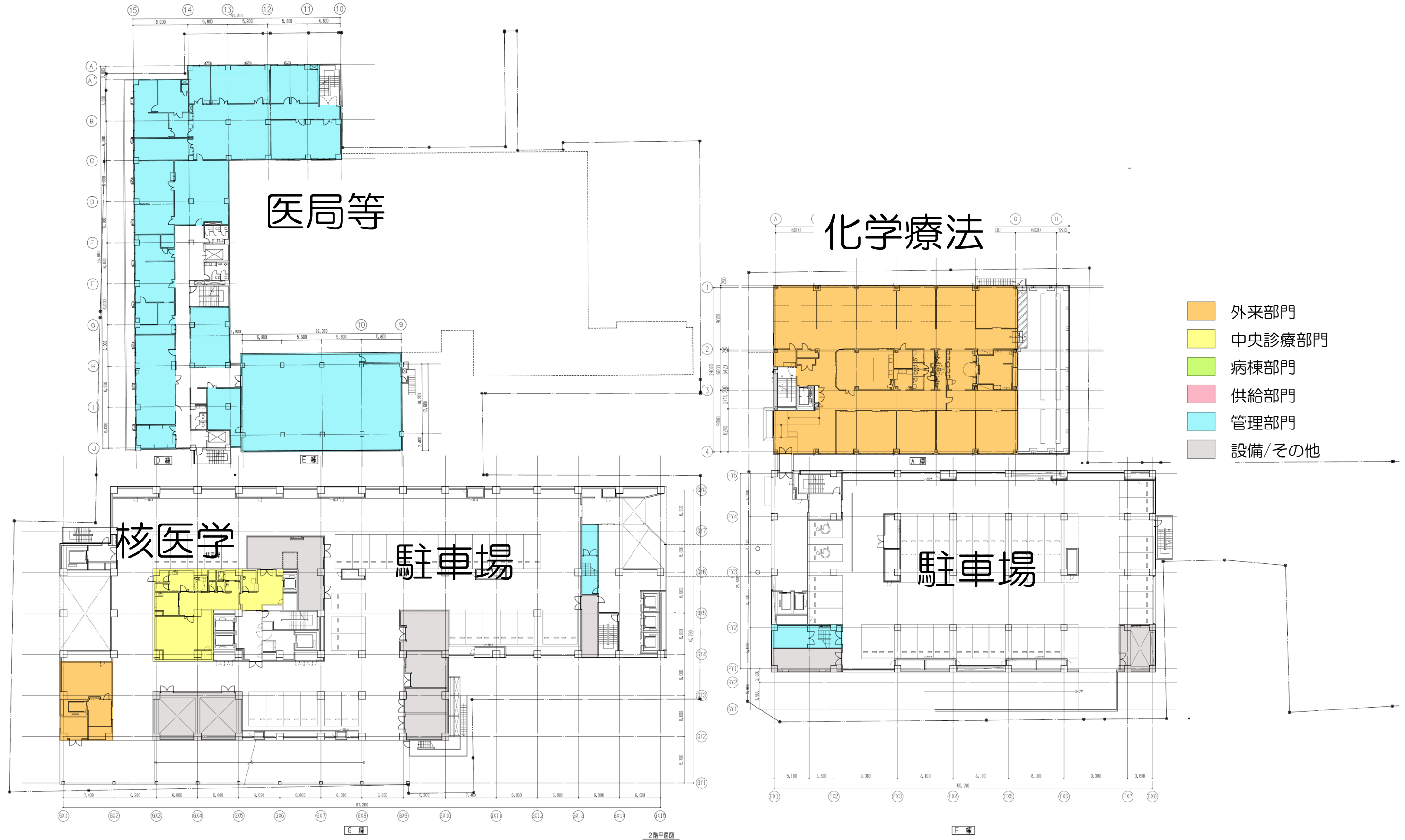
・ 3、4階の「ホスピタル・スパイン」を介して既存建物と新築建物を一体化し、病院全体の最適なゾーニングを実現する「骨格」を形成しています。

既設の建物は将来の医療環境の変化に応じて更新し、時々の最適な全体構成を実現することができます。現計画では、D/E棟に健診センターやスタッフスペースを配置した、既存建物を積極的に利用した計画としています。

1階 平面図



2階 平面図

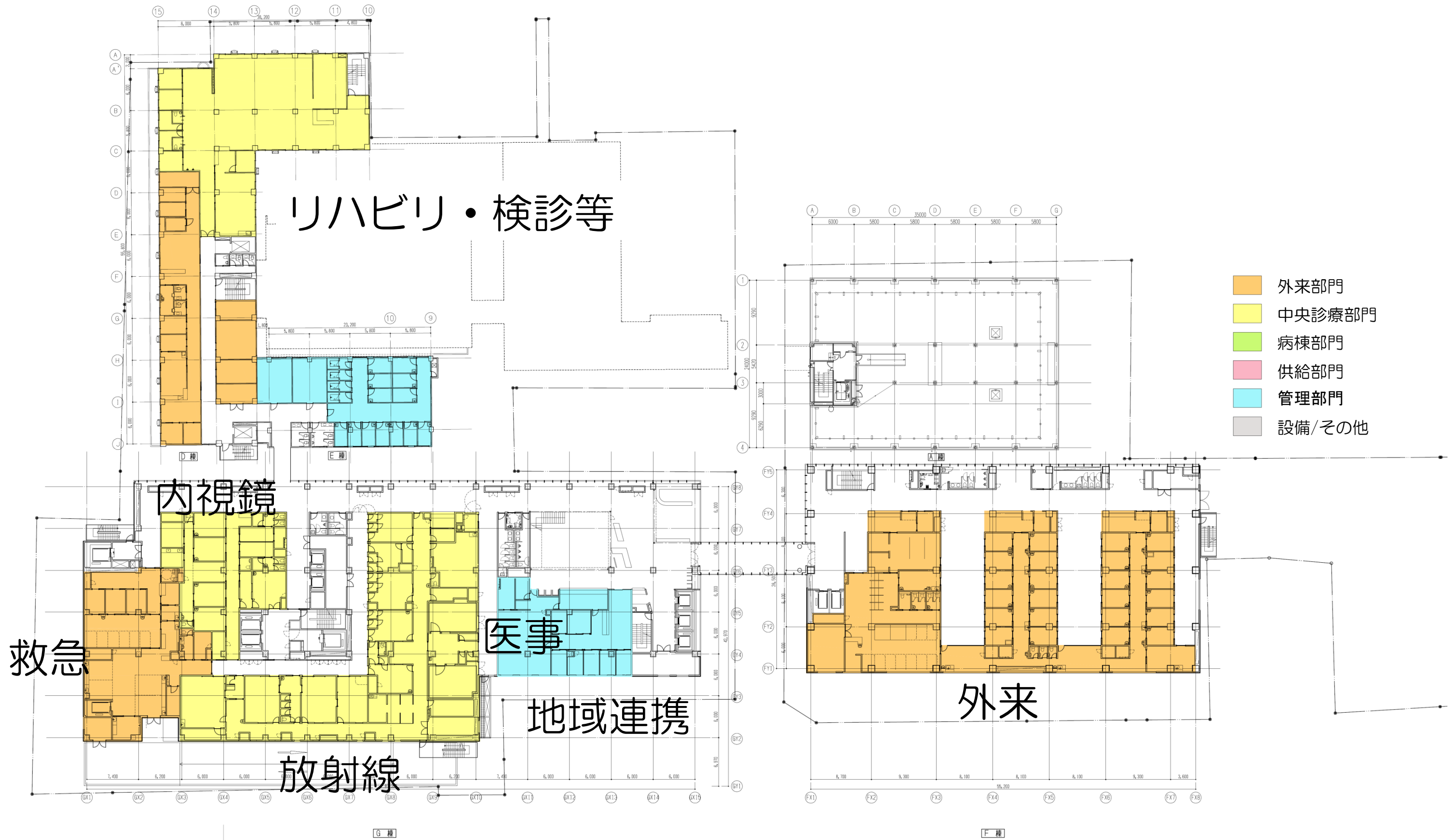


- 外来部門
- 中央診療部門
- 病棟部門
- 供給部門
- 管理部門
- 設備/その他

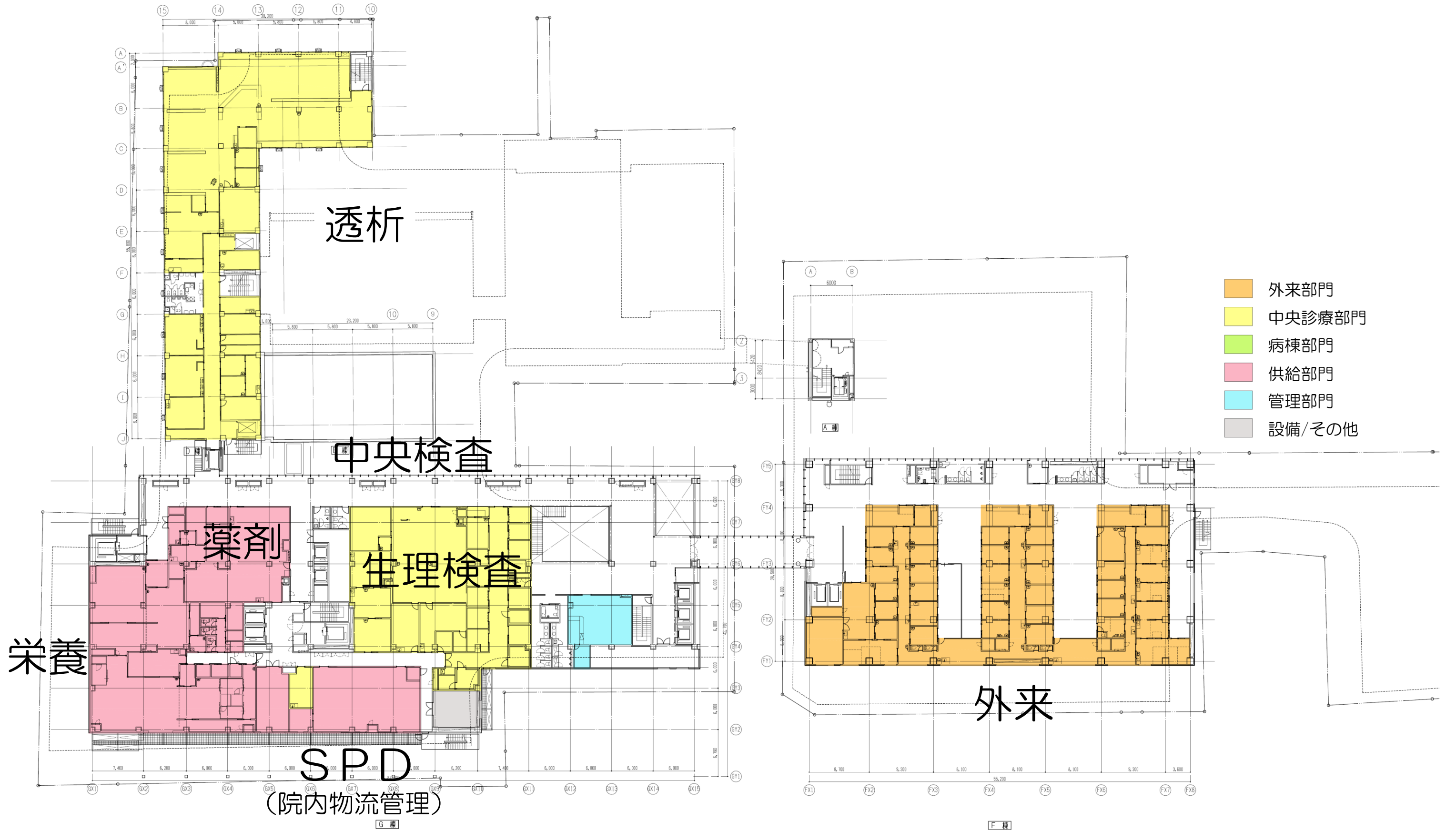
2階平面図

F 棟

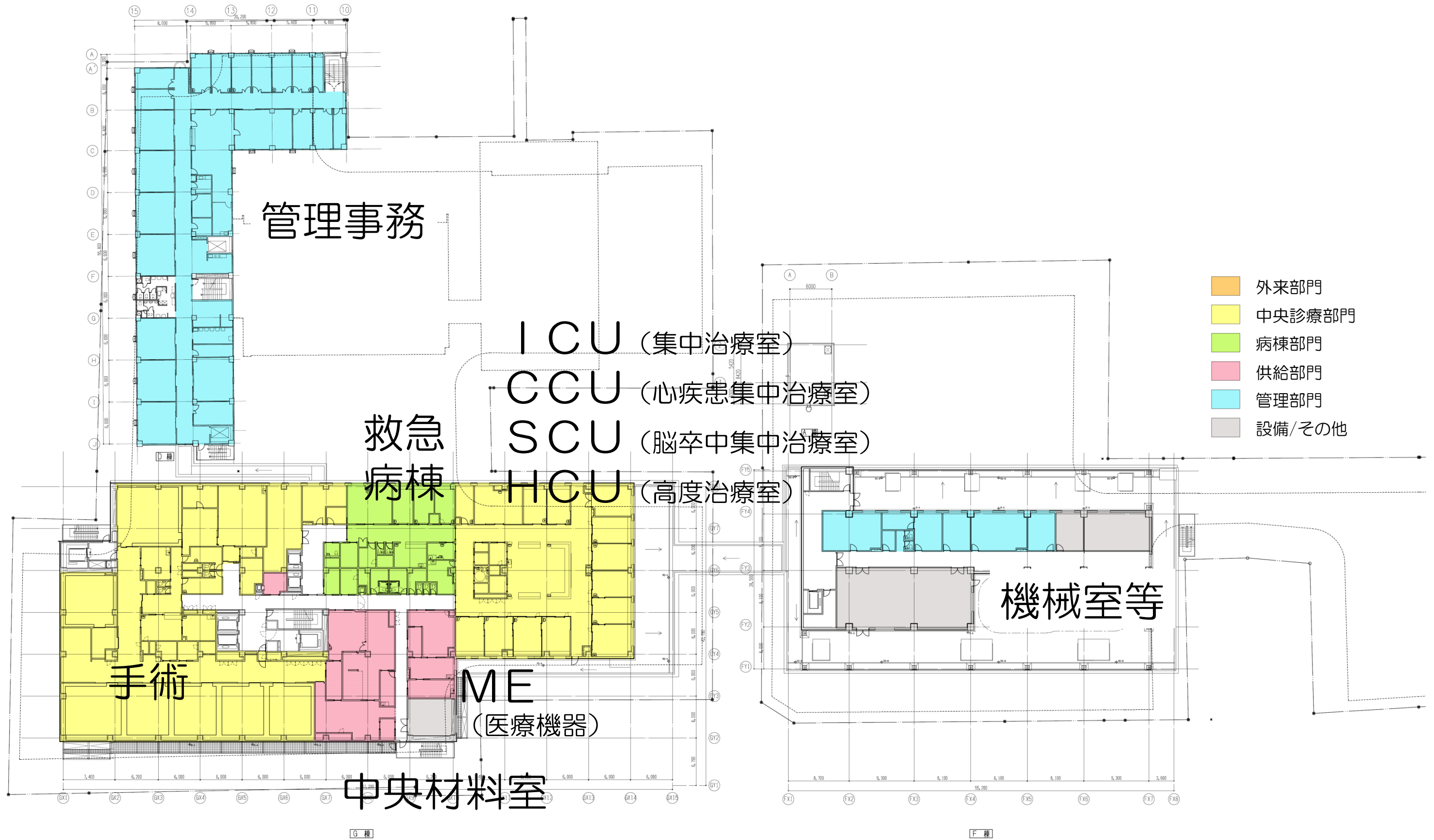
3階 平面図



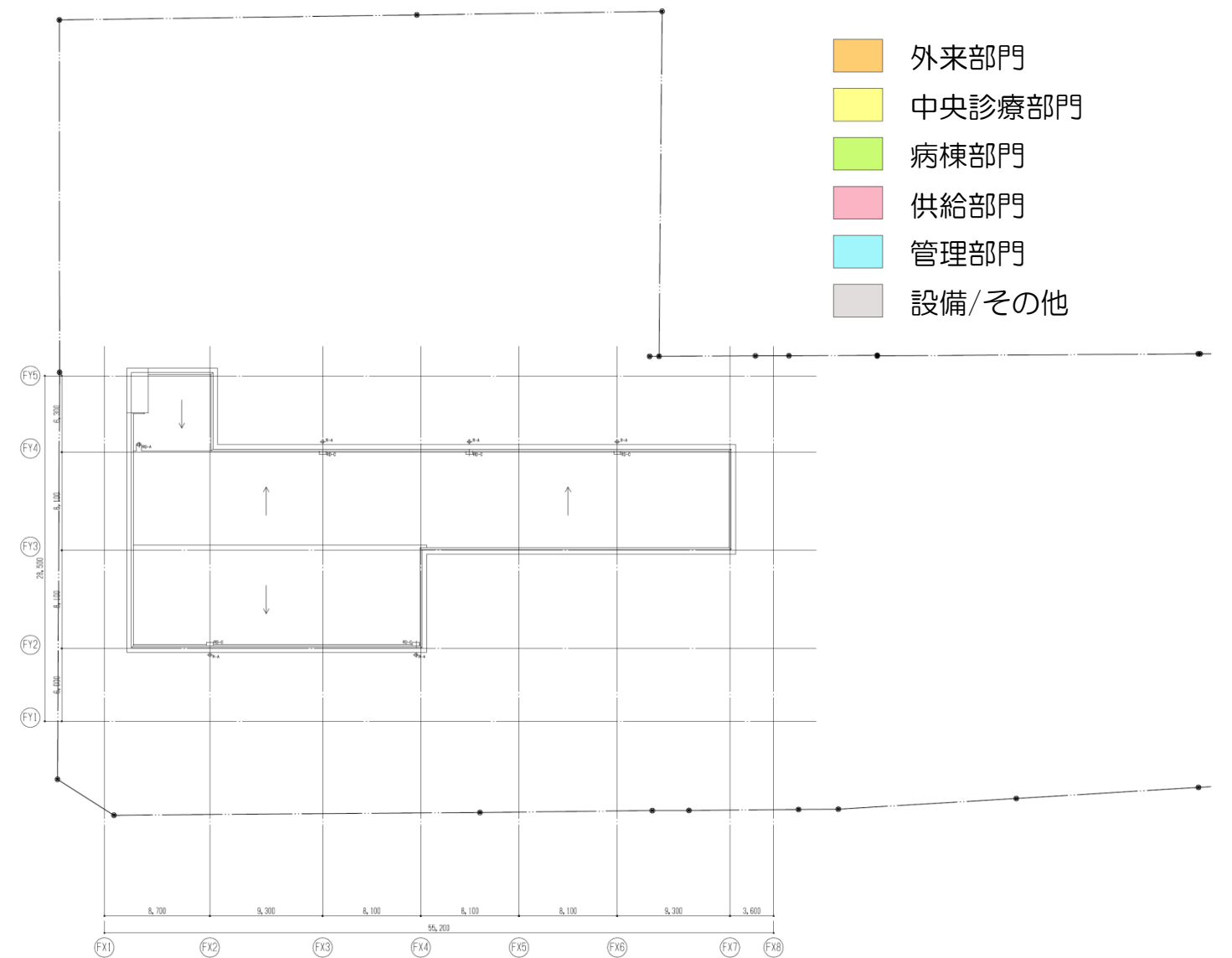
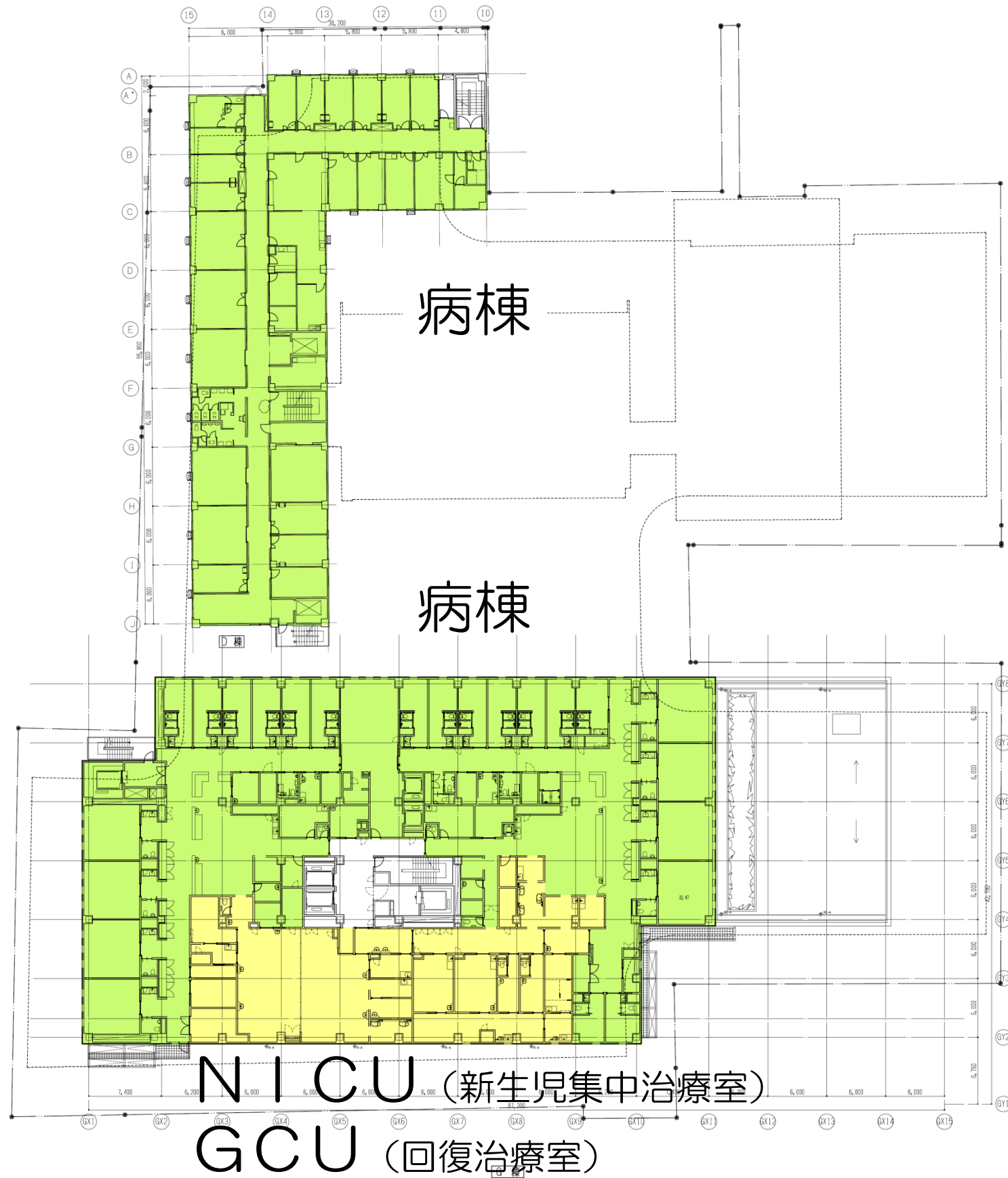
4階 平面図



5階 平面図



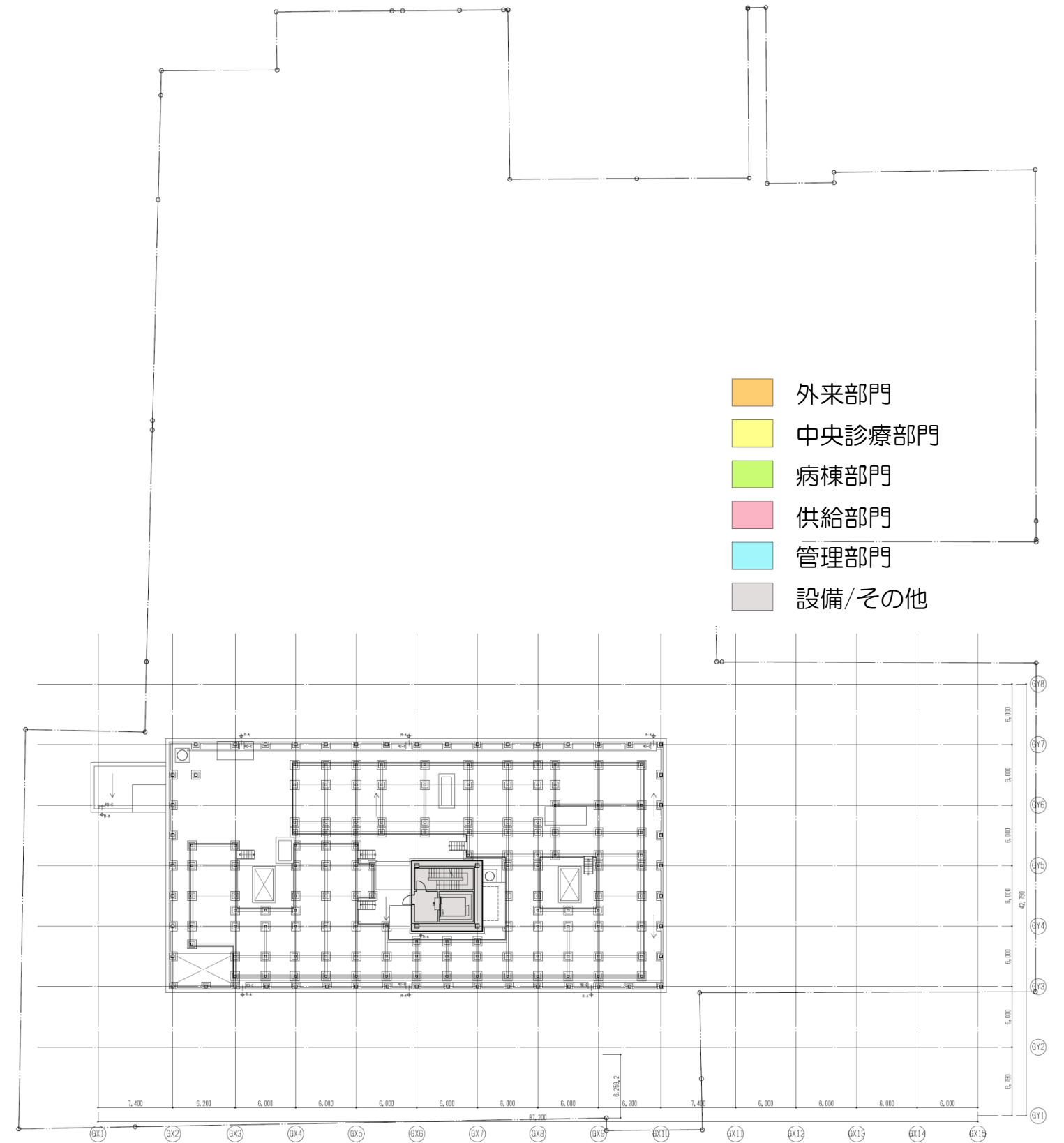
6階 平面図



10階 平面図



G 棟

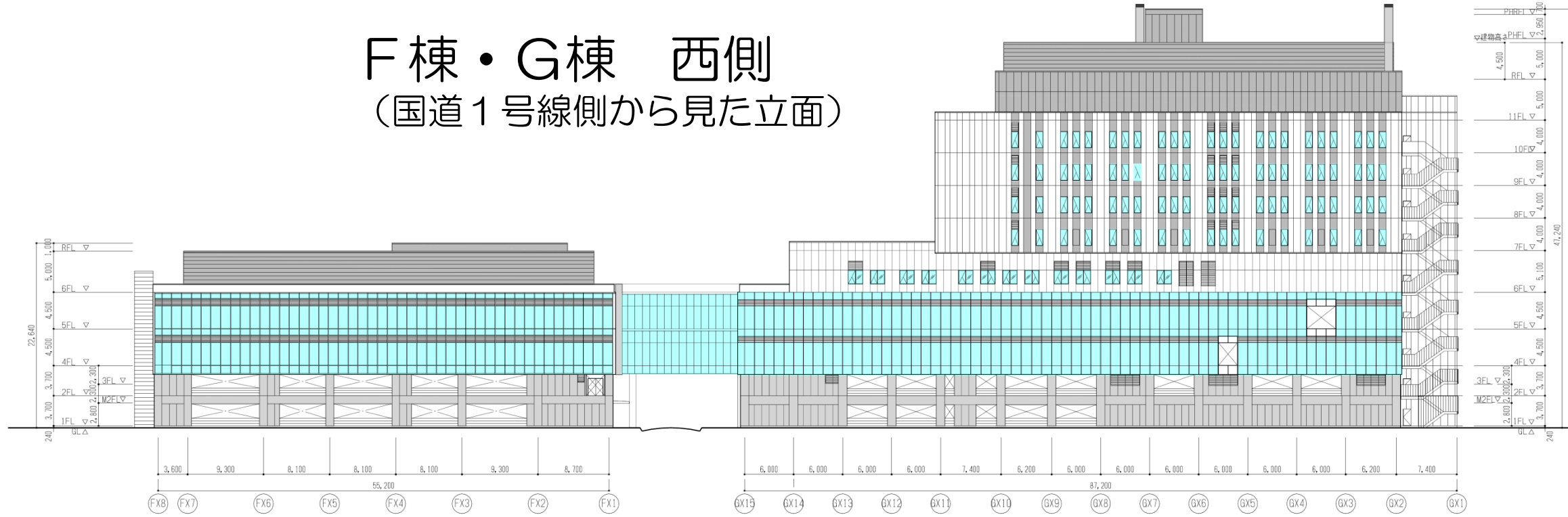


- 外来部門
- 中央診療部門
- 病棟部門
- 供給部門
- 管理部門
- 設備/その他

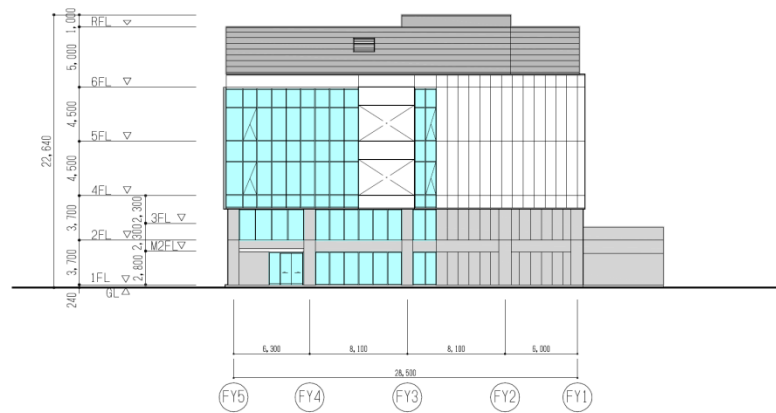
G 棟

立面図

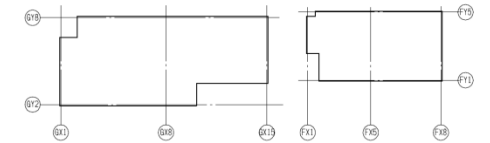
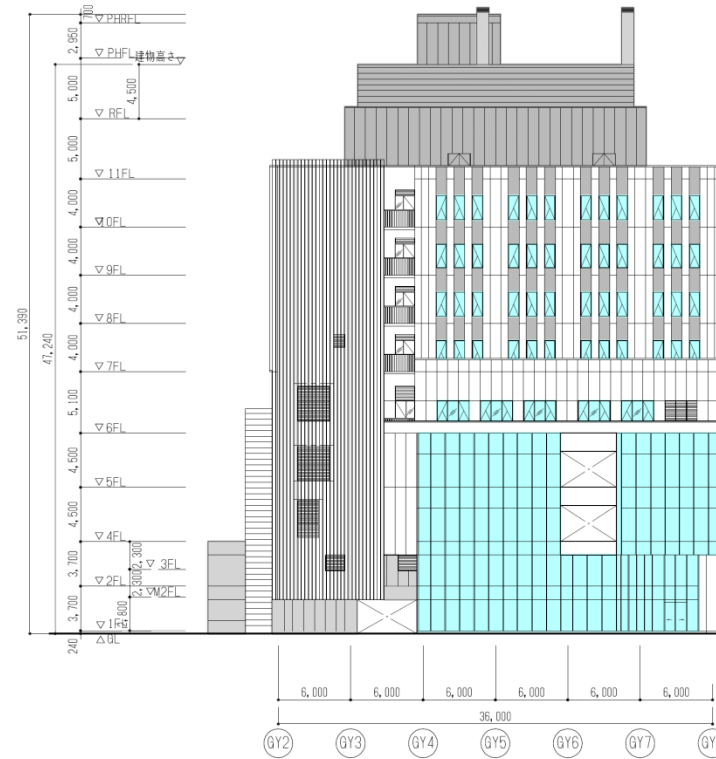
F棟・G棟 西側 (国道1号線側から見た立面)



F棟 南側 (市道記念線から見た立面)



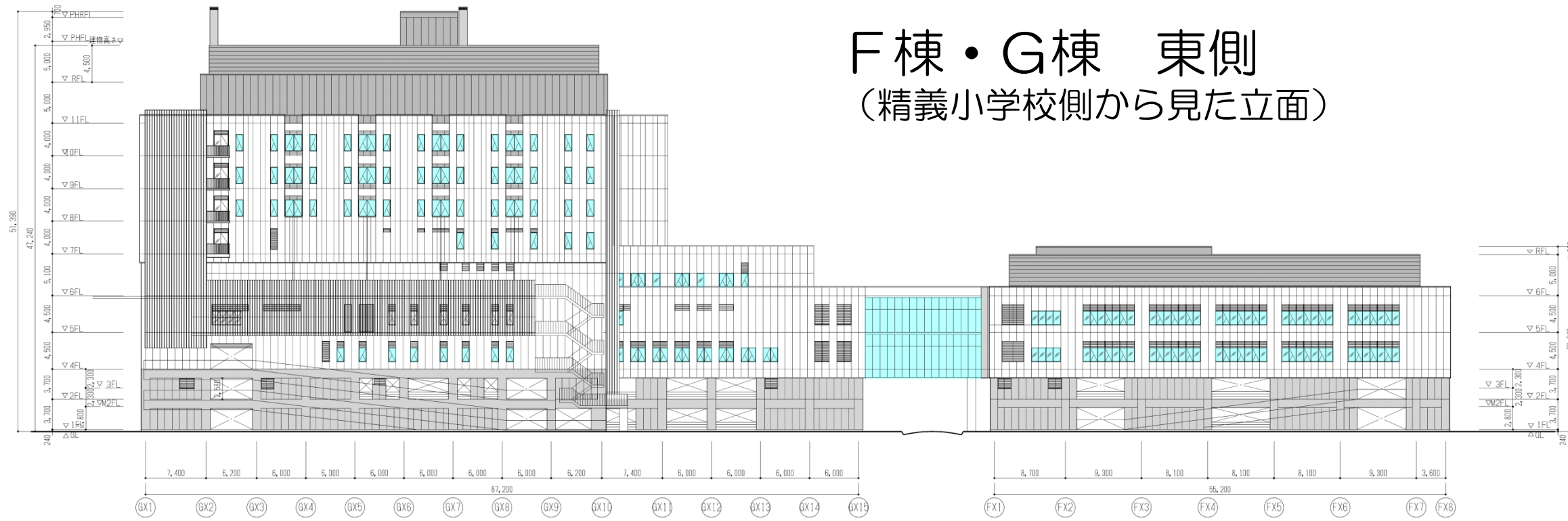
G棟 北側 (市道記念線から見た立面)



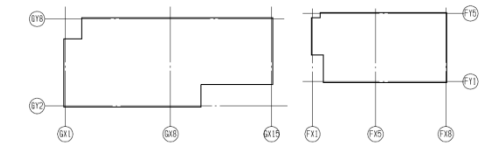
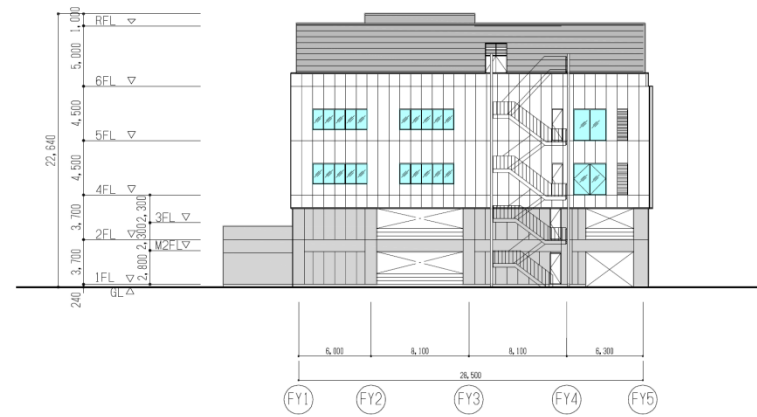
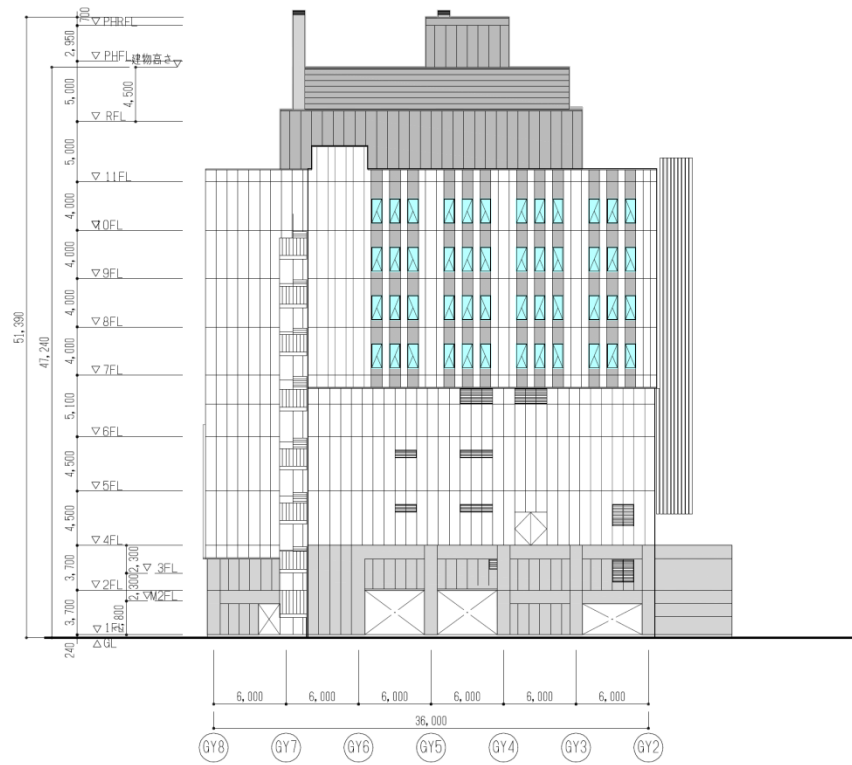
【キープラン】

立面図

F棟・G棟 東側 (精義小学校側から見た立面)



F棟 北側 (八間通り側から見た立面)



【キープラン】

G棟 南側 (アピタ側から見た立面)